

広報

おわに



平成19年

9月号 23号

今月の内容

小学校適正配置中間案……………2～5P
敬老会対象者は1683人……………7P
着衣泳のすすめ……………10～11P
3セク評価委員会設置……………13P
みんなのひろば……………14P

写真■9月8日湯本温泉神社祭典のちびっこ神輿

町内に2校

検討委員会で中間案

検討委員会では、みなさんの意見などもふまえ、最終意見を答申書として今年12月まで町長に提出します。答申書を受け取った町は、答申書を尊重し事業を推進していきます。

8月28日越中畑会場

中間案

- アンケート結果をできるだけ尊重すべきである^{注1}
- 湯田地区、沢内地区各一校とする
- 学区は編成替えしない^{注2}
- 校舎は新築しない（町当局の考えを尊重する）

理由

児童数の減少
ある程度の児童数の環境の中で学ばせたい
複式学級の解消
教育環境の整備^{注3}
教育効果の向上

付帯意見^{注4}

通学方法については十分配慮すること
適正配置後の複式学級のできる状態は避けた方がよい

注1…アンケートは昨年11月に区長を通じて町内2,435世帯に配布され、1,918世帯から提出がありました。回収率は78・8%で、およそ全体の62%が統廃合に賛成との結果が示されました（詳しくは広報にしわが19年2月号をご覧ください）。

注2…かつては大野地区の児童が湯本小に通うことができた時代もありますが、ここで示された「学区の編成替えはしない」というのは、旧町村の枠を超えた通学はできないという意味です。

注3…教育環境の整備とは、学級数が増えることで専門教員の配置が可能になる、あるいは経費を集中し、施設整備の充実が可能になります。

注4…付帯意見とは、委員会として答申の内容以外に、さらに意見を付すことです。

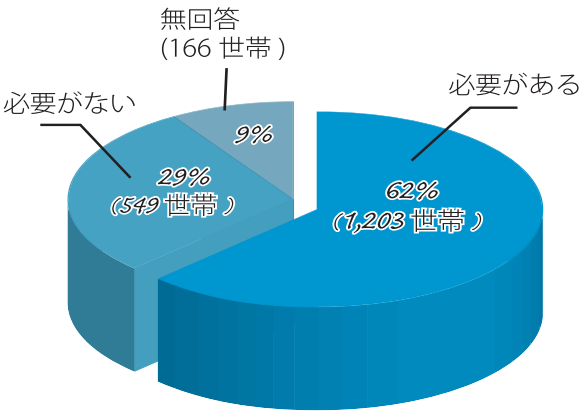
町では、子どもたちの健やかな成長とより良い充実した教育を保障し、将来的な展望にたった小学校のあり方を検討するため、小学校適正配置検討委員会（高橋成会長・川尻）を設置して検討を始めています。検討委員会では、今まで7回の検討を重ね、町民アンケートの結果を参考にしながら、先ごろ中間案をまとめました。

町では、子どもたちの健やかな成長とより良い充実した教育を保障し、将来的な展望にむけての参考にするため8月23日から30日にかけて、学校区単位で「小学校適正配置中間懇談会」を行いました。7会場で313人が出席しました。

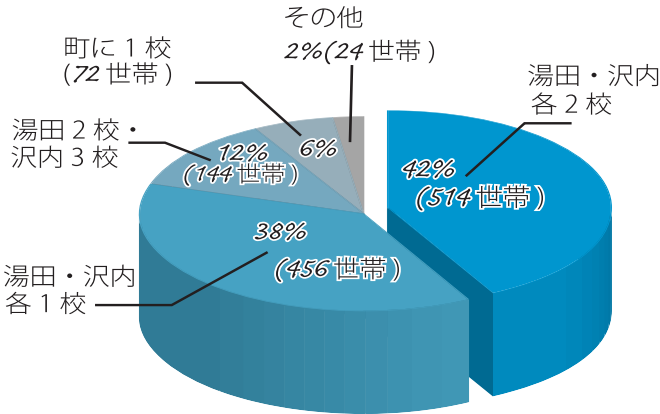
懇談会では、中間案の説明を行った後に、意見が交わされました。検討委員らも同席し、お互いに様々な意見にうなずきながら、熱心に討論する姿がありました。

昨年11月のアンケート調査の結果

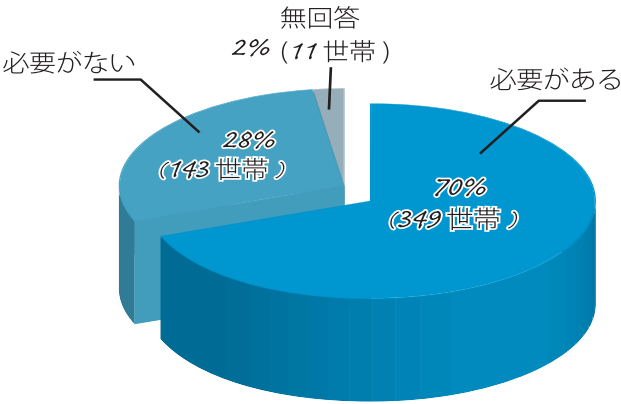
問 統廃合の必要があるかどうか



問 統廃合する場合の学校の数



問 統廃合の必要があるかどうか（子どもがいる世帯）



小学校適正配置検討委員 （敬称略）

平成 19 年 8 月現在

役職	氏名	備考
会長	湯田地区区長代表 高橋 成	区長協議会副会長
副会長	学識経験者 石井 弘光	川舟
委員	PTA 代表	照井 盛丈 川尻小 PTA 副会長
		宇都宮清美 湯本小 PTA 会長
		高橋 淳木 越中畑小 PTA 会員
		米澤 昭蔵 沢内一小 PTA 会員
		新田 俊浩 猿橋小 PTA 会長
		石川 洋斗 川舟小 PTA 顧問
		田中 勲 貝沢小 PTA 会長
		高橋清一郎 湯田中 PTA 会長
	保育園（所）保護者代表	佐々木浩輔 沢内中 PTA 会員
		高橋 辰彦 湯本保育園保護者
	校長会代表	田中 光広 川舟保育所保護者
	保育園（所）代表	田村 壮一 西和賀町校長会長
		神成 礼子 川尻保育園長
		佐藤りき子 川舟保育所長
	沢内地区区長代表	佐藤 政信 区長協議会長
	学識経験者	小田島三夫 湯本
	一般公募	高橋 茂之 寅沢
		高橋 宏 猿橋

小学校適正配置までの流れ （当初予定案）

平成 19 年 8 月	各学校区で中間懇談会
}	検討員会で検討（2 回程度）
平成 19 年 12 月	検討結果を町長に答申
平成 20 年 1 月	①答申に基づき、町で最終的な調整を行います。
}	②学校の位置や数は、町で素案を決定します。
	③町の案を、議会に上程し審議してもらいます。
}	④議決後に教育環境の整備などを順次進めます。

（このスケジュールは、当初教育委員会が想定した日程であり、検討委員会の協議次第では、このとおりとなりません。）

小さい時から大勢の人に囲まれた方がよい。たとえば、親に相談できなくても、子どもたちだけで解決する事もある。子どもが多いことで、気のあう友達を見つけることができやすくなる。

個人的には、児童が少ないので旧町村1校ずつが妥当だ。

わたしの子どもは、左草小と湯本小が統合し、現在タクシーで送迎してもらっているし、子どもは人数が多くなってうれしいと言っている。旧町村に1校でもいい。(湯本地区)

子どもは、家庭だけでなく同級生から学ぶことも多い。小規模校にはスポーツもできないなど限界がある。

具体的な数字で見ても、統合して、また引き続き複式というのはいかがなものかと思う。委員会の中間報告の旧町村1校案は、委員会としての大体の結論だ。

越中畑小学校では、町立保育所が閉鎖され、川尻保育所に通うことになった。しかし、小学校に入学する際に、別れ別れになってしまうのは、不自然だし、かわいそうだ。(越中畑地区)

たとえばグループごとに討論をさせる場合に、グループが作れないなど、できない授業が多くなる。合唱もできない、野球もできない状況なので、早く統合してほしい。

7回もの検討委員会を開催して、アンケートでは、2校が多いなか旧町村1校ずつにしたというのは、これからの先を考えた適切な判断であった。

中間答申を尊重するべきだと思う。要望として、早く合併し、出来れば平成21年からお願いしたい。

そのほかの意見

●町長は、一万人構想を打ち立てているが、それが達成されれば児童も増え複式学級も解消される。せめて、町長の任期中は、統廃合をすすめるべきではない。

●現在でも小学校ではいたるところで修理が必要である。『どうせなくなるんだから』という気持ちで手をつけないのではなく、結末はどうであれ、平等に取り扱ってほしい。

●小さい学校が良いか、大きければ良いか、それぞれにデメリットやメリットがある。どちらも正論である。そうだとすれば、町でより強い方向性で、住民に理解を求める必要があるのではないか。意見を聞くことも大切だが、理解を求めていくことも大事である。

●この懇談会後に、検討委員会ですべて検討されると思うが、仮に統合になる場合は、スクールバスはどうなるのかなど事前に情報を知らせてほしい。

●統合する場合は、校舎の新しい古いではなく、子どもたちにとってより良い環境で学ぶことができ

各会場からの意見

複式ではどうしてだめなのか、納得できる説明がない。

たとえば児童数が多くなると選抜された人だけが大会に出るなど、一部の人にしかチャンスがない。しかし、少なければ自分もやらないとだめだという気持ちでがんばる。人数が多ければ良いのか疑問である。

現在、小学校では縦割り班（学年にとられない班編制）で掃除を行うなど、小さいからだめということではない。

統合はやむをえないと思うが、学校数は、まずは湯田・沢内で2校ずつ、段階を踏んで旧町村1校ずつとしたほうがよい。

統合するならば2校ずつ（町内で4校）の方がよい。1校ずつだと通学距離が長くなるので、それが心配だ。あくまでも子どもたちに犠牲を強いるのではなく、教育的、体力的、精神的な配慮があるべきだ。

私も複式学級で学んだが、中学校に入って引け目を感じることもなかった。現状のままでいけるのであれば、このままで良いのではないか。

学校を中心に地区行事もあるため、なくなると地区に与える影響も大きい。児童が少ないことで、PTA行事などで親も大変だが、むしろ親が積極的に関わることで盛り上げていきたい。

知り合いに保育園から中学校まで生徒の入れ替わりがなかったと児童の父母から聞いたが、人が入れ替わりしないのでいじめがずっと続いてしまうなどの弊害もあるようだ。

頭では統合は止むなしとの感じはあるが地域の衰退を考えれば余りにも代償が多く、すんなりと賛成はできない。

ちよっと待った 中間案に反対

各地区の内容は、町のホームページなどで10月中旬ごろに公開予定です

多く出た質問

Q 各校の耐震状況はどうか

A 昭和56年に法律が変わりそれ以前に建設された校舎は耐震診断の必要があり、順次行っています。耐震基準だけで小学校の配置を決めるわけではありません。

Q 統合後の通学方法は

A 送迎は発生しますが①スクールバス②定期バス③タクシーの利用などを考えて、今後検討します。

る観点から選んでほしい。

●町は、保育園・小学校・中学校、そして高校へつながっていく大きな流れでビジョンを描き、大きくくりで考えていくべき。

●統合する場合は、湯田地区と沢内地区を同数にしてほしい。答申にもそのように付帯意見を盛り込んでほしい。

●小中学生にアンケートを行ってはどうだろうか。

●西和賀高校の統合問題もあるが小中高一貫が望ましい。

記憶を風化させない

NPO法人深澤晟雄の会

まさお

8月28日湯田庁舎で、深澤晟雄の会（太田祖電理事長・太田）に対するNPO法人（特定非営利活動法人）認証式が行われ、町内で5番目、北上総合支局管内で19番目、県内で306番目のNPO法人認証となりました。

同会は、深澤晟雄元沢内村長の功績と精神を広く知ってもらうための活動と、同氏の精神をよりどころにした奉仕的活動に取り組み、地域づくりへ貢献することが目的です。

当日は、町長から太田理事長に認証書が手渡されました。

高橋町長は「生命尊重が忘れられているこの時代に、人間の使命である生命尊重を全国に発信していくことは意味がある。みなさんとともに全力を尽くし、活動が実を結ぶことを願っている」と激励しました。

また、太田会長も「趣旨にそって全力を注いで活動していく。現在の正会員は54人で、当面の目標は正会員を100人にする。そして本年度中に沢内病院前の旧看護婦宿舎を改造し、深澤晟雄資料館（仮称）としてオープンさせたい」と抱負を話し、佐々木孝道副理事長（前郷）

が続けて「わたしたちも資料の収集を急ぐので、資料館のオープンに向け行政もスピードアップして対応してほしい」と要望しました。

「私の命をかけよう」

深澤村長は、明治38年太田で生まれ、東北帝国大学法学部を卒業後、当時の台湾総統府などに勤務し、昭和29年5月に沢内村教育長、昭和31年沢内村助役を歴任し、昭和32年から40年まで沢内村長として村政を担いました。そして、現職のまま昭和40年1月に59歳の若さで亡くなりました。

深澤村長は、生命の格差を絶対に許さず、国がやらなければ村が責任を持つという理念の下で生命尊重を貫き、「住民の生命を守るために私の命を賭けよう」と話したといわれています。

現在、沢内病院前には銅像が建設



沢内病院前の深澤晟雄像

されてその功績を讃えているほか、生命村長の精神は現在の町政に脈々と引き継がれています。

深澤村政の業績

昭和33年

福祉行政のひとつとして他町村に先がけ70歳以上に対し「養老手当金」を給付しました。

昭和35年

「生命尊重」の理念で、満1歳以下と60歳以上に対し、国民健康保険の10割給付（無料化）を行いました。

昭和37年

乳児死亡率ゼロを記録し、全国の注目を集めました。

昭和38年

盛岡市までの定期バスを確保し、法施行に先がけて世帯主の7割給付を行いました。



現在は未使用の看護婦宿舎



当時の深澤村長



NPO認証書を受領する太田理事長と関係者

対象者は1683人

長年にわたり家族や地域を支えてきたお年寄りのみなさんに感謝し、その長寿を祝う敬老記念式典と祝賀会が町内各地で行われました。町内では8月7日に行った太田地区が一番早く、全32会場（光寿苑、清水苑、ぶなの園を含む）で行われました。記念式典は町が中心になり、祝賀会は地区が中心となっており、祝賀会す。町は、喜寿と米寿、そして90歳以上の方に記念品を贈りお祝いしました。

敬老会の参加対象者は昭和8年4月1日以前に生まれた75歳以上の方が対象です（地区によっては、独自



湯本地区の様子

に70歳以上を対象にしているところもあります。保健福祉課の調べによると、町内の75歳以上の人は1683人で、男性が640人、女性が1043人です。このうち喜寿（77歳）131人、米寿（88歳）50人、90歳以上の人は177人（このうち100歳を超えているのは3人）です。対象者の数は、昨年と比べて全体で68人増えました。

▼湯本地区でも盛大に▲

湯本地区の敬老記念祝賀会は9月17日対滝閣で行われ、対象者79人のうち32人が出席しました。式典には町長も出席し「これからも健康で、まちづくりのために意見などを寄せてほしい」とあいさつし、喜寿、米寿、90歳以上の方ひとりひとりに記念品を贈呈しました。

その後、保育園児や小学生による踊りが披露されたほか、鬼剣舞少年団団員による鬼剣舞も披露されました。祝賀会ではお互いに和気あいあいと近況を話し合ったり、楽しい時間を過ごしました。

会場別の75歳以上人数

保健福祉課調べ（単位 人）

地区名	該当者数			左のうち			
	計	男	女	喜寿	米寿	90～99歳	100歳～
貝沢	50	27	23	10	2	3	0
若畑	58	25	33	6	1	7	0
川舟	117	54	63	12	4	11	0
長瀬野	65	28	37	6	1	11	0
泉沢	61	22	39	6	4	1	0
弁天	21	10	11	1	0	3	0
猿橋	51	18	33	4	0	8	0
太田	81	29	52	3	1	6	1
鍵飯	28	12	16	3	1	1	0
前郷	79	31	48	4	4	7	0
新町	109	39	70	5	5	14	0
大野	45	17	28	5	0	8	0
東大野	32	11	21	4	0	4	0

地区名	該当者数			左のうち			
	計	男	女	喜寿	米寿	90～99歳	100歳～
沢内地域計	845	332	513	69	25	100	2
湯田地域計	838	308	530	62	25	74	1
西和賀町計	1,683	640	1,043	131	50	174	3

ぶなの園は沢内地域、光寿苑は湯田地域の合計に計上しています

地区名	該当者数			左のうち			
	計	男	女	喜寿	米寿	90～99歳	100歳～
左草	26	10	16	2	1	3	0
下前	39	17	22	3	0	4	0
湯田	81	30	51	6	0	9	0
清水ヶ野	20	7	13	2	0	2	0
間木野	15	6	9	1	0	1	0
湯本	79	28	51	5	4	4	0
槻沢	26	11	15	2	0	2	0
湯之沢	34	16	18	2	1	5	0
川尻	241	89	152	19	9	14	0
耳取	42	12	30	1	0	4	0
草井沢	9	4	5	2	0	1	0
鷺之巣	8	3	5	1	0	1	0
湯川	35	14	21	2	0	2	0
小繫沢	28	12	16	3	1	3	0
新田郷	86	31	55	8	5	8	0
柳沢	23	10	13	2	0	4	0

地区名	該当者数			左のうち			
	計	男	女	喜寿	米寿	90～99歳	100歳～
ぶなの園	48	9	39	0	2	16	1
光寿苑	46	8	38	1	4	7	1

第15回

地域演劇祭

木下順二さん追悼公演

9月1・2日の両日、銀河ホールで第15回銀河ホール地域演劇祭が行われました。

この演劇祭は、平成5年の第8回国民文化祭いわて93民話劇部門の会場に、同年に完成したばかりの銀河ホールが選ばれたことに端を発し、それ以来毎年行われています。

地域演劇祭への出演団体はこの15年間で延べ73団体で、県内外で地域に根ざした活動をしている団体が出演しています。

今回は、地元から劇団ぶどう座、青森県青森市から劇団支木、兵庫県尼崎市から劇団かすがいの3団体が出演し、両日ともホールは満員になりました。

ことは、昨年10月に92歳で亡くなった『夕鶴』で有名な劇作家の木下順二さんを偲んだ追悼公演で、木下さんと親交が深い川村光夫さんによる追悼講話などが行われました。



▶ 劇団支木
しらひげ婆じょんから戦記 (作/篠崎淳之介)

おおむね 大鰐・アジャラ山の周辺は、古くから平川の氾らんに悩まされ、そこに住む村人たちは、たくさんの子どもたちをかかえ、明日には食う米もそこをつき、さらに厳しい税金の取り立てと、苦しい生活をしいられる。

わらをもつかむ気持ちで山伏やしらひげ婆にすがる。



▶ 劇団ぶどう座
二十二夜待ち (作/木下順二)

二十二夜待ちの晩に村人らはお堂に集まり、お経を唱え、その後に宴会。その宴会に流れ者がやってきて、村人に「飲め。歌え」と強要する。そこにいる婆さんを迎えに、藤六が来るが、流れ者に臆せず、婆さんを大切にする。流れ者はその光景を目のあたりにし、翌朝、母に会いたいと願い旅に出る。



▶ 劇作家・川村光夫さん (川尻)
木下順二さん追悼講話

「木下先生は、戦後一早く劇作家として演劇界に登場し、演劇界ばかりでなく広く芸術文化に影響を与えた大きな存在。木下先生の取材の現場に立会い、取材と同時に台本を書き上げる過程を、目のあたりにできたことは、とても勉強になりました」



▶ 劇団かすがい
陽気な地獄破り (作/木下順二)

かじ屋、歯医者、山伏、手品師の4人は、現世で悪事をはたらき地獄に落ち閻魔大王と会う。それぞれが現世で良い行いをしたと主張するが、大王はお見通し。大王は、この4人に剣の山や熱湯地獄という試練を課すが、4人は知恵を出し合い試練を切り抜けていく。

高橋日出夫さん

『藁の家』自費出版



◆『藁の家』はA5版440ページにおよぶ大作

申込先／企画課 ☎ 82-3284

高橋日出夫さん（盛岡市在中）が先ごろ少年時代の思い出や西和賀町のことをつづった随想『藁の家』を出版しました。9月17日沢内バーデンで出版記念祝賀会が行われ、同級生や親類などおよそ50人あまりがお祝いに駆けつけました。高橋さんは大正15年土畑で生まれ、6歳の時に一家で新町に移住。少年期を新町で過ごし、盛岡警察署長などを歴任し現在にいたります。祝賀会では、世話人代表の佐藤政信新町区長が「人生の教訓として学ぶことも多い」と書籍の紹介をしたほか、高橋さんは「みなさんから過分なお褒めの言葉をいただき、書いてよかったと思う」と話していました。300部発行した書籍は若干の残部があるとのこと。希望者は早めにお申し込みください。

湯本小に巨大カボチャ 一年生が植栽



「このカボチャ、重くて持てないよ」

湯本小学校（小原千栄子校長・児童64人）の菜園で、一年生12人が植えた巨大カボチャが生育しています。このカボチャはアトランティックジャイアントという種類で、もとは家畜用ですが、最近ではコンテスト用に利用されています。カボチャの直径は80センチ、胴回りは150センチもあり、子どもたちだけではとても持ちきれません。この菜園には、ほかにサツマイモ、ミニトマト、枝豆などが栽培されています。同校の久保隆一教頭は「残念ですが食べることはできません。しばらく様子を見てから観賞用として、学校に飾っていただきます」と話していました。

地区の優勝に貢献 いきいきシルバー大会

9月1日盛岡市県営運動公園陸上競技場で第19回岩手県民長寿体育祭いきいきシルバースポーツ大会が行われ、北上地区チームの一人として西和賀町から選抜された選手が出場し県内各地の精鋭らと堂々と競いあいました。優勝は北上地区チームで、2位の奥州地区チームに100点以上の差で大勝。西和賀町選手団の好成績が優勝につながりました。

9月11日選手団の代表らが優勝旗を携え、町長を訪れ優勝を報告しました。北上地区チーム副団長の西和賀町老人クラブ連合会長の内記正志さん（前郷）は「選手はこの大会に向けて一生懸命に頑張ってくれた。西和賀町の力を大いに示すことができた。来年に向けますます頑張っていきたい」と喜びを話していました。



優勝を報告する選手団

湯田太鼓保存会 20周年記念特別公演



◆ばちを持つ手に力はいります

湯田太鼓保存会（会員19人）は、湯田地区で継承できる芸能を、という思いから昭和62年仙台の民族歌舞団ほうねん座代表の佐藤正信さんに作曲をお願いし「湯田明神太鼓」という創作曲を作ったのが事の始まりです。同会は9月2日湯本小学校体育館で結成20周年を記念した「太鼓フェスティバル」を行いました。同会会長の澁谷一幸さんは「湯田太鼓保存会は『地域の財産・宝』として20年間歩んできた。これからも保存会の活動を通して、生まれ育った湯田を創り上げていきます」と話していました。フェスティバルには町内外から8団体が出演し、3時間におよぶ熱演で、来場したおよそ400人の観客は響き渡る和太鼓の音に聞き入っていました。

溺れたときにどうする

泳ぐ or 浮く

体力温存と自己保全の方法

高死亡率の水難事故

着衣泳。^{ちやくいえい}聞き慣れない言葉かもしれませんが、水難事故にあった際に、おぼれないために自分を守るための方法です。

警察庁の資料によると、昨年1年間に全国でおよそ1400件（水難者は1600人あまり）の水難事故が発生し、およそ800人が亡くなっています。水難事故は非常に危険で、死亡率はおおよそ5割と高い数字を示しています。

6分をしのぐ

8月29日越中畑小学校（竹原晴美校長・児童17人）では、着衣泳講習会を同校プールで行いました。越中畑小では、前日に校内水泳記録会を行い、今日がプールを使った最後の授業です。

『万が一、水難事故が発生した場合にどう対処するか』、これが講習の内容です。事故が発生し、救急車や消防車が現場に到着するまで、平均で6分かかると言われています。現場によっては、さらに時間がかかります。

苦い経験から

当日の講師は、着衣泳の広域指導員資格を持ち西和賀消防署に勤務する佐藤忍消防士長（北上市）です。佐藤さんは「救助隊員になりたてのころに水難事故があり、すぐ現場に駆けつけたのですが、すでに要救助者は沈んでしまっていました。そのため、発見するまでに時間がかかり、助けることができませんでした。救助隊員として力のなさを痛感しました。そのため助ける側としては、浮いていてくれれば発見も早くなり迅速に救助することができます」と苦

い経験から、着衣泳に取り組み、普及に努めています。

貝を割るラッコのように

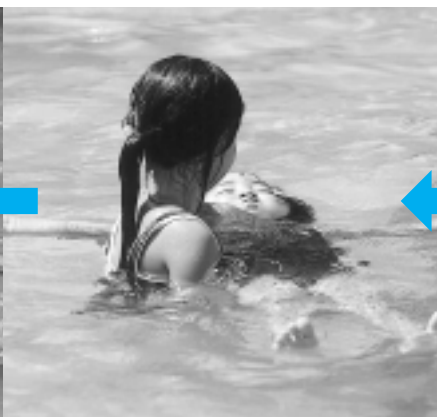
竹原晴美校長は「いつもプール授業の最終日には、服を着たままで泳がせていましたが、有資格者の佐藤講師の存在を知り、しっかり学ばせたい気持ちから講習会を行いました」と話します。着衣泳の基本は、着水したらあおむけになつて顔と指先を水面に出して大きく息を吸い込みます。この状態を背浮きといい、基本形です。

人間の重心はへそにあり、実際には足の方が早く沈みます。そのため、手を伸ばすことで重心が上半身に移動するので、水の中では背伸びをした状態で足を少し広げます。そして大きく息を吸い、そのまま我慢します。息が苦しくなったら、また大きく呼吸します。肺に空気を多く取り入れることで、浮力が増します。この呼吸法をリラックスしながら行います。ちょうど、貝を割るラッコを想像してください。

浮くことができたなら、今度は実際に水に落ちたという想定で、相手から押してもらい、その後にペットボトルを投げる練習と受け取る練習を行いました。



▲靴が浮いている状況がわかります



▲最初は、組になり支えながら浮く感じを確かめます



▲まずは、陸の上でイメージトレーニング（佐藤講師・写真右）

子どもたちは、最初はうまくできませんでしたが、こつをのみ込むとたちまち浮くことができるようになりました。

服や靴は脱がない

昔は、泳ぎやすくなるために川に飛び込んだら靴や服を脱ぐ、と教わった人もいるでしょう。しかし、この着衣泳では浮力を得るため靴も服も脱ぎません。スポーツシューズの多くが水に浮きます。また、衣類は空気をためる目的のほかに、身体の保温という重要な役割を果たします。水温が低い場合は、体力の消耗も一気に進みます。体力を消耗しないためにも極力動かず、浮くことが肝心です。

人間は浮きますが…

息をしている人間の比重は水に対して0・98で水よりも軽いため浮きます。肺に大きく息を吸い込むことで浮力も増しますが、体の面積のたった2%しか水に浮くことができます。

そのため、水におぼれたときに、腕をばしやばしやとさせると比重は1を超え身体は水に沈みます。この状態で呼吸をして助けを呼ぶことは

現実的には不可能で、まして服を着たまま泳ぐのは容易なことではありません。動くことで生命さえ危うくなります。慌てず、浮くことを考えるのが延命の重要な鍵です。

救命のための連鎖

おぼれても、慌てずに背浮きなどで浮いて救助待ちます。ペットボトルだけでも大きな浮力を得られます。おぼれている人がいれば、まずペットボトルなどを投げ入れます。そして、すばやく通報し、救助隊員などの専門家の救助を待ちます。

おぼれた方は、無理をしてペットボトルを取りにくくと重心が変わり沈むので、手元にくるのを待ちます。

浸透しはじめた着衣泳

着衣泳の講習をプールで行うには管理者の許可が必要です。佐藤さんによると「着衣のままでも入っても衛生的に問題がないと科学的に証明されている」と言います。

着衣泳には指導員講習を行う事ができる広域指導員と指導員（プール・海）の資格が

あり県内で広域指導員の資格を持つのは3人、指導員は9人とまだまだ少ないのが現状です。西和賀消防署を含めた北上管内では2人の有資格者が有事の際に待機します。

【講習の相談先】

西和賀消防署 ☎84-2507

担当・佐藤または内記まで

参加者の声

●6年・菊池陽介くん

今日習ったことを生かして、何かあれば、じっとして助けを待つようにします。

●6年・中島奈留美さん

おぼれない方法と助ける方法を知ることができました。

●6年・小原明日香さん

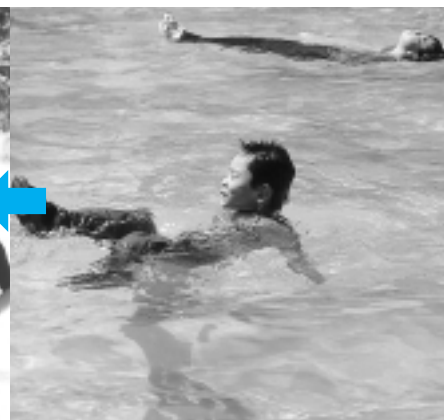
何かあった時には、浮くものを投げて助けてあげます。そして、自分がおぼれた時には、ラッコの姿勢で助けを待ちます。



▲あわてず、リラックスして。講師もほめる完成形です



▲不意に川に落ちたという想定で、相手に押してもらいますが、さてどうでしょう



▲少しでもバランスがくずれると沈んでしまいます

3セク経営評価委員会設置

健全運営とあり方検討

町内には、西和賀町からの出資比率が25%を超える、いわゆる第3セクターが4社あります。

牛乳やデザートを製造販売する湯田牛乳公社。砂ゆっこやオアシス館などを管理運営する西和賀産業公社。沢内バーデンや周辺施設を管理運営するエステック。湯田地区たい肥センターを管理運営する山の幸王国の4社です。各社とも町の産業振興に重要な役割を果たしていますが、経済の低迷でより厳しい経営状況にあります。

町では、本年度この4社の経営状況などを分析し、

健全な運営に向けた今後のあり方を検討するため、先ごろ第3セクター経営評価委員会を設置しました。

8月24日第2回委員会では、視察を行い各社から経営状況などの説明を受け、今後のあり方や町とのかわりなどに関し意見交換を行いました。委員からは「累積赤字の原因は何か」「施設の特徴をどう生かそうとしているのか」など、さまざまな角度からの質問や意見が出されました。

町は、委員会とは別に専門的な立場から4社の経営状況を分析するため、公認会計士による調査を行って

います。委員会ではこれらの調査結果も参考にしながら検討を重ね、来年3月までに町長に対し提言書を出す予定です。

第3セクター経営評価委員

(敬称略)

▼委員長・佐藤一久(町商工会長) ▼副委員長・真壁信男(町観光協会会長) ▼委員・佐藤洋輝(町企業連絡協議会長)、高橋雅一(町協議会議員)、高橋勉(県庁



槻沢の産業公社すっぱん養殖施設を視察する委員

台風9号の影響

大きなつめあと

8月22日の集中豪雨と9月7日の台風9号による強風と大雨は、町に大きなつめあとを残しました。

8月22日の降り始めから

の雨量は、湯田で115ミリ、沢内で99ミリ。9月7日は、湯田で午前7時から8時までの1時間雨量が34ミリという大雨を記録し、

経営評価課出資等法人改革担当課長)、佐々木淳(県南広域振興局経営企画課長)、新田晟訓(副町長)

降り始めからの総雨量がおよそ200ミリと最近にない大雨となりました。

町では、いずれも災害警戒本部を設置し、職員による巡回などを行い、区長とも協力して情報収集に努めました。幸いにして人的な被害などはありませんでしたが、町道丸子峠線(草井沢地内の幹線で南本内岳方面に向かう道路)や町道相沢線(白糸の滝に向かう道路)などが崩壊し車での通行はできなくなっています。

町道以外にも、河川や農地など数十か所で被害が発生し、被害総額は数億円と見る見込みです。

入札状況

次のとおり入札を行いました。①内容や場所などの詳しいことは、担当課まで②落札率は予定価格と契約額(共に税抜き)から算出③契約額は税込みの金額で、千円以下は切り捨て④工事名と内容は省略

9月5日執行分

番号/1(建設課)
工事名/小繋沢橋旧橋撤去
場所/小繋沢 内容/コンクリート構造物取壊しほか
契約者/竹沢工務店 契約額/231万円
工期/H19.9.12~H19.12.10 落札率/86.9%

番号/2(建設課)
工事名/町道防護柵設置
場所/岡木野ほか1 内容/防護柵設置444mほか
契約者/羽柴興業 契約額/651万円
工期/H19.9.12~H19.12.5 落札率/96.6%

番号/3(生涯学習課)
工事名/川舟公民館下水道接続
場所/川舟 内容/排水設備工事一式ほか
契約者/(株)近藤設備 契約額/498万円
工期/H19.9.12~H19.10.21 落札率/99.2%

番号/4(生涯学習課)
工事名/高下公民館下水道接続
場所/川舟 内容/排水設備工事一式
契約者/(有)栄和工業 契約額/283万円
工期/H19.9.12~H19.10.21 落札率/99.9%

番号/5(生活環境課)
工事名/貝沢消防屯所新築
場所/貝沢 内容/木造平屋建新築ほか
契約者/(有)米沢工務所 契約額/651万円
工期/H19.9.12~H19.12.10 落札率/98.5%

番号/6(生活環境課)
工事名/長瀬野消防屯所新築
場所/長瀬野 内容/木造平屋建新築ほか
契約者/(有)松川工務店 契約額/955万円
工期/H19.9.12~H19.12.10 落札率/99.8%

番号/7(建設課)
工事名/沢内簡水新町配水系配水管布設(1)
場所/新町 内容/配水管布設DIPφ150ほか
契約者/(有)栄和工業 契約額/3,335万円
工期/H19.9.12~H20.2.1 落札率/99.7%

番号/8(建設課)
工事名/沢内簡水新町配水系配水管布設(2)
場所/新町 内容/配水管布設DIPφ150ほか
契約者/(株)近藤設備 契約額/3,433万円
工期/H19.9.12~H20.2.1 落札率/98.5%

番号/9(建設課)
工事名/沢内簡水新町配水系配水管布設(3)
場所/新町 内容/配水管布設DIPφ150ほか
契約者/(有)西和水道土木 契約額/1,779万円
工期/H19.9.12~H20.2.1 落札率/98.5%



崩壊した丸子峠線の様子(本屋敷から耳取方面)

みんなのひろば

あいさつをしない大人

子どもたちは、登下校時に元気にあいさつをしてくれます。そのあいさつはすがすがしく、今日一日がんばるぞ、という気持ちになります。

ところが、大人のあいさ



つの声は聞こえません。こちらから声をかけて返ってくるのならまだしも、あなたに声をかけているんですよ、という1対1の状況でさえあいさつをしないし、できない大人がいます。

聞こえなかったのかもしれません。声をかけられると思っていなくて、とまどったのかもしれない。

最近では、子どもたちも防犯上の都合で知らない人には声をかけないようになっているとのこと。また、声をかけられても、知らないふりをするようです。このことは意味が分かりません。

しかし、あいさつをするのは生活の基本です。大人が率先して行うことで、子どもたちの見本になる必要があるのではないのでしょうか。

(二町民 男性 40歳代)

40年前の話です

突然ご連絡申し上げます。私事でありますが、今から40年ほど前(昭和42

年)、わたしが高校一年生の時に、友人と一緒に東北一周の自転車旅行に出かけました。帰り道、当時の湯田町内で、のどが渇き、水を飲もうとして崖から転落しけがをしました。その際に近くの民家に担ぎ込まれ、手当をしていただき食事をご馳走になりました。さらに黄銅鉦の土産までいただき、住所と名前の書かれた用紙をいただきました。

旅を終え自宅に帰ったあとでその用紙を探しましたが、旅の途中で紛失したようで見あたりませんでした。その後、就職して近くを通ることもありましたが、場所を特定することは



イメージ写真

できませんでした。わたしも定年に近い年齢となり、40年前のことですが、そのときの状況を忘れることができません。

もし、心当たりのある方がいらつしやれば、あらためて感謝の気持ちを申し上げ、非礼をおわびしたいと思います。

(宮城県美里町 鈴木正典)

追記

鈴木さんのお話では、道路脇に川があつて、道路下は崖だったとのこと。なにぶん、かなり昔の話で道路状況も当時とはだいぶ変化しています。思い当たる方や当事者でなくても当時の状況を記憶しているなどの情報を広報係までお寄せください。

(広報係 小林)

篤行な方に感謝

お盆、演劇祭など行事が近づくにつれ町道川尻小繋沢線路肩の草が伸びで、道幅が狭くなったので目障りばかりでなく危険も感ずる



きれいに刈り払われた町道

ようになりました。役場にお願いをしようと思つていたところ、この程きれいにしかもガードレールを越えてまで刈り払われていました。当然役場で払ってくれたものと思つて聞いてみたところ、やっていないとのことでしたし地区の人たちに聞いても知らないとのことでした。だとすれば、地区外の方が払ってくれたようです。

暗い話題の多い時代だけに、篤行な方がおられることに、自分自身への癒しの気持ちを与えてもらったばかりでなく、地域住民への今の欠けている心の問題に問いかけてくれたことに感謝をするものです。

(小繋沢 高橋信一 78歳)

8月21日放送分

障害者の社会参加

ワークステーション湯田・沢内事務長 高橋典成



障害者自立支援法の施行を受け、ワークステーションは4月から事業体系を2つに分けました。1つは自立訓練事業で、食事や家事などの日常生活能力を向上させるための支援や相談を行うものです。もう1つは就労継続支援事業で、就労体験や生産活動にたずさわり、一般就労や農業で自立を図るものです。どちらも基本的には仕事を通して社会の一員としての役割を果たしていくために行っています。

主な仕事は農業と農産加工で、1.2ヘクタールの農地に水稻や大豆、ジャガイモ、大根、ナメコ、山菜、山野草を栽培し加工しています。今年から新たに学校給食のパン作りにも挑戦しています。開設から5年間培ってきた技術と知恵で、学校給食の一部を支えることも社会参加の1つです。

「ふるさと宅急便」も順調に推移しています。主に都市部に住むおよそ250人の会員に、西和賀の四季折々の物産と情報を年4回送っています。最近は9月中旬にジャガイモやリンドウを送りました。

ふるさと宅急便は、障害者が都市と農村の交流の主体となる、福祉の側からの地域おこし事業です。これを支えているのが、送り手のわたしたちと受け手の都市住民の交流事業である「ふるさと交流会」です。今年は「障害者施設交流事業」と名を変え、11月11日に東京都新宿区で行います。物産販売と郷土料理を囲んでの交流が中心で、毎年およそ2,000人が来場します。

ワークステーションの生産物は、宅急便以外にも敷地内のテントショップで、また、毎週金曜日に盛岡市の「都南プラザ」に通所者が出向いて販売しています。今後も障害者が社会参加する機会をどんどん創っていきたいと思います。

8月7日放送分

食中毒の予防方法

保健福祉課主任栄養士 泉 玲子



ニュースなどで食中毒というと、レストランや飲食店などでの食事が原因と思われがちですが、家庭の食事からも発生しています。厚生労働省に報告のあった分だけを見ても、家庭の食事が原因の食中毒が全体の2割近くを占めています。

しかし、家庭での食中毒は症状が軽かったり、発症する人が1～2人の場合が多いことから、風邪や寝冷えなどと間違えることも多くありますが、中には重症化したり死亡する例もあります。

食中毒は6月から急増し、10月までピークが続きます。また、夏の暑い時期に限らず、1年中発生する可能性があります。予防のために次のことを心がけましょう。

食中毒予防の3原則は①原因菌をつけない②原因菌を増やさない③原因菌を殺すことです。

具体的には、まず清潔を保つこと。原因菌を食品につけないように、調理前や調理作業の区切りに手や調理器具を洗浄・消毒しましょう。

次に迅速を心がけること。買ってきた食材は早めに調理し、調理した食品は早めに食べるこ

とで原因菌に増殖する時間を与えないようにしましょう。

そして温度管理に注意すること。食品は室温で放置せず、冷蔵庫や冷凍庫に入れましょう。冷凍庫の場合、ほとんどの原因菌はマイナス10℃以下で増殖するスピードが遅くなり、マイナス15℃以下で活動を停止します。ただし、死滅したものではありませんので、冷凍保存であっても早めに使い切りましょう。また、原因菌は熱に弱いので、食品を加熱するときは中心部まで十分熱が通るようにしましょう。

家庭でできる簡単な予防方法をきちんと守り、楽しくおいしい食事をしましょう。



ありがとうかな 故郷



寺の勉強と火事で忙しい日々を送る早恵さん

夫の宣承さんと京都で知り合い結婚し、西和賀町にきてこととして8年目を迎えた早恵さん。

「結婚する前は、東北地方にきたこともなかったので不安でしたが、今では『やづまげだ』で代表される沢内弁も分かるようになって、少しずつ慣れてきたかな」と話します。

4姉妹の母として家事などでも忙しい毎日を送っていますが「在家出身で寺に嫁いだので、寺の仕事を目下勉強中です。また、長女と次女は『やよい会子供会』に所属させてもらっていて、わたしは裏方としてかわらせていただいています」と娘の活動を支え、裏方として成長をかいま見ることも楽しみのひとつです。

あなたの出身地は

京都府京都市です。

出身地はどこなところですか

京都市内の少し北部ですが、近くには京野菜を作っている畑があります。

①⑦ 太田早恵さん（太田） 京都府京都市出身

す。京野菜のカブを薄く切って漬けた千枚漬などの漬物も有名です。それと大学が多い街でもありますので、若者も多く活気あふれる街です。

？名所や観光スポットは

実家から徒歩10分のところに世界文化遺産に登録されている上賀茂神社や有名な京都御所があり、よく散歩に行きました。それと、よく修学旅行のコースにもなる金閣寺や銀閣寺、清水寺などもあります。残念ながら行ったことはありませんが…。

？西和賀町のよさ

子どもたちにとっては、地域の人たちの交流も多く、思いっきり自然とも触れあうことができるので、元気でのびのびとした心豊かな子に育ってくれる町だと思います。虫が多すぎるのが、わたしにとってはキツイですが…。



京都市データ
人口 147万4,811人
世帯数 65万3,860世帯
面積 827.9km²
ホームページ
<http://www.city.kyoto.jp/>

おじゃまします 事業所訪問 ⑨

■紹介者
工場長
佐藤洋輝さん（泉沢）

北上宝飾（株）（泉沢）

昭和59年7月北上市にあるシチズン東北（株）（旧上尾精密（株））100%出資子会社、北上宝飾（株）の沢内工場として、太田で腕時計用針の生産をスタート。その2年後には、現在地に工場を移設し、昨年、北上宝飾（株）として独立しました。現在の従業員は58人。

経営方針として①シチズン東北（株）の経営ビジョンを共有し、一躍を担える会社となること②CSR（企業の社会的責任）を会社運営の軸とし、法令遵守と環境にやさしい工場運営をはかること③地域に密着し、地元での積極的な雇用を進めていくことを掲げます。

同社の品質は折紙付で、工業分野の国際的標準規格である環境マネジメントシステム（ISO14001）を申請済みで、さらに品質保証と顧客満足度の向上を目指す品質マネジメントシステム（ISO9000）の申請を行う予定。佐藤さんは「環境と品質の両面から取り組み、事業拡大で地元からの採用を増やし、前向きに楽しくやがたい会社を目指しています」。



こんなことをしています ⑨

西和賀ウォーキング協会

■紹介者 会長
佐藤政信さん（新町）

西和賀ウォーキング協会の会員は70人あまりで、年2回は町外の大会に参加しながら、自然とふれあい交流を深めています。

ことし3代目会長に就任した佐藤さんは「ウォーキングは順位を競うものではなく、誰もが自分の体力やペースにあわせて体力づくりのために参加します。各地で行われる大会に

参加するのは、自分のためす良い機会だからです」と話します。

ウォーキングは、四季を感じたり、その土地の名勝や史跡などを見るのも楽しみのひとつだと言います。

佐藤さんは「今後は、町内の恵まれた自然を生かしたコース設定を行いたいし、普段もくもくとかんばっている人と一緒に大会に参加したいですね」と抱負を話していました。



湯本鬼剣舞

■紹介者

庭元 大澤長嘉さん（湯本）



？始めたきっかけは

昭和43年に、湯本地域の青年が地域の活性化を目的に岩崎鬼剣舞に師事したことが始まりです。昭和63年に岩崎鬼剣舞から、念願であった念仏秘伝書が正式に伝授されました。鬼剣舞は、念仏普及、悪魔退散や衆生済度の踊りとして広まり、将兵の出陣、凱旋の踊りとして伝えられたといわれています。

？無形民俗文化財の指定

平成4年5月8日に町の無形民俗文化財に指定されました。今まで頑張ってきたかいがありました。今でも年間数十回は公演を行っています。

？会の悩み

やはり若い人が加入しないことです。鬼剣舞を郷土芸能としてより定着させるために、小中学生を対象に湯本鬼剣舞少年団（現在25人）を組織し毎週水曜日に指導しています。また、湯本小学校の3年生以上の児童を対象に、運動会で大演舞を行うなど指導に努め底辺層の拡大に取り組んでいます。それでもなかなか成人になってから続けてくれる人が少ないのは、本当に残念なことです。今後も町の文化として、鬼剣舞を継承していきたいと思っています。



？きっかけは

平成8年に沢内村の補助事業で漬物加工場を造りました。そこで漬物加工を行っていました。さらに夢を広げ、平成12年からお菓子製造、平成17年からお総



■紹介者

代表 佐々木シヲ子さん（前郷）

木いちご工房

？何を作っていますか

西和賀町ならではの山の幸であるミズノコブ、ワラビ、マイタケなどの山菜の入った漬物が中心で、お菓子は「里のおもひで」という商品名のガンズキや切り餅、ビスケットの天ぷらなどを、いずれも添加物無しで作ります。

？これからの抱負

町の応援もあって「沢内



物産」が立ち上がり加工仲間が増えました。地元の食材を、製造・商品化することとは「本物をつくる」ことだと自負しています。今作っている商品を大事にしながら、新しい商品開発にも力を入れ挑戦していきたいと思っています。

趣味で 人生を 豊かに⑨

？きっかけは

私は二戸市出身で、平成5年に川尻小学校で教員を退職しました。退職前からガラスの輝きに魅せられていたので、いつかは彫絵をしてみたいと考えていました。また、ガラス本来の輝きを出し、子どもたちにも感動や感激を与え、感性を育てる土台にしたいという思いもありました。

道具も手に入れ準備が整い、草井沢に「ガラス工房あいら」を開き、それ以来二戸と西和賀を行き来する生活をしています。

？ガラス絵との違いは

ガラス絵の場合は、ガラスに直接絵を書いたり、線を彫ります。彫絵は、立体的に彫ります。独学ですが、光の反射具合で掘ったところが青白く光ります。いかに光を綺麗にみせるかが難しく、逆におもしろいところ

？どんなガラスを使いますか

車のガラスや色つきのガ



ガラス彫絵
へらいやすひさ
戸来保壽さん
（本屋敷）

？どんな活動を

私のボランティア活動のひとつとして、各種教室などで技術指導を行っています。作品は最初から販売するつもりはありませんので、募金をしてくれた方などにプレゼントしています。募金は、社会福祉協議会や日本赤十字社に寄付します。個展は、年に3回ほど開いています。手が動く限りは、創作活動を継続していきたいですね。



問合先／町民課 ☎ 85-2111
行政相談委員／古澤邦廣（新町
☎ 85-3120）、須藤繁（上野々 ☎
82-2032）

秋のブナの森を歩きます

西和賀エコミュージアム推進事業プレッシャーとして、次の日程で自然観察会を行います。精通したガイドが案内します。

日時／10月13日（土）9:00～15:00

観察地／真昼ブナ指標林

参加費／1,000円（昼食代、バス代、温泉入浴料、保険料含む）

そのほか／①小雨でも決行②野外観察に適した服装と装備をお願いします③雨具、敷物、筆記用具、あれば双眼鏡や図鑑類などを持参してください④先着20人になり次第締め切ります（必ず電話で申し込むこと）⑤集合・解散場所は沢内バーデン

申込・問合先／企画課 ☎ 82-3284

文化祭出展作品を募集

町は、11月2日（金）～4日（日）まで第2回西和賀町芸術文化祭を銀河ホールで行うことから、展示部門への作品を募集します。

募集作品／美術部門（絵画・彫刻・工芸・書道・写真）、文芸部門（詩・短歌・俳句・川柳）とし、テーマは自由

申込方法／出展希望者は、作品に地区名・氏名・題名を明記し、銀河ホールか学務課まで直接、作品を持参してください

募集期限／10月15日（月）

問合先／生涯学習課 ☎ 82-3240

国や県から

オータムジャンボ発売

10月1日から全国一斉にオータムジャンボ宝くじが発売されます。宝くじの発売総額のうち、賞金や印刷経費などを除いたおよそ4割が発売元の都道府県などに還元され、地域振興事業な

どに使われています。

抽選日／10月24日（水）

問合先／（財）岩手県市町村振興協会 ☎ 019-651-3461

求 人 情 報

ジェノバで内職者急募

靴製造を行っている（株）ジェノバ（大沓）では、次のとおり内職者を若干名急募します。詳しくはお問い合わせください。

内容／靴底接着剤塗布

問合先／☎ 82-3525（内職担当高橋まで）

そ の ほ か

10月1日から公証週間

盛岡公証人会では、次のとおり無料公証相談会を行います。電話による相談も受け付けます。

日時／10月1日（月）～7日（日）9:30～16:00

場所／盛岡公証人合同役場、宮古公証役場、一関公証役場、花巻公証役場

相談内容／遺言、相続、協議離婚に伴う慰謝料・養育費、金銭・土地の賃借など

問合先／花巻公証役場（花巻商工会議所会館内） ☎ 0198-23-2002

詩人×絵描きの作品展

北上市在住で詩人の元川健さんと同級生の



イラストレーター赤平健さんは、「詩人×絵描の作品展～研ぎ澄まされていく感性」と題する作品展示会を行います。入場は無料。当日は、書きためた作品の中から40編ほどを展示する予定です。

日時／9月29日（土）～30（日）10:00～17:00まで

場所／銀河ホール

戸 籍 の 窓 （敬称略）

8月16日～9月13日受付分
※掲載を希望しない事も出来ます。届け出の際にお申し付けください。

末永くお幸せに

児 玉 修 若 畑
山 口 明 美 若 畑

ご誕生おめでとうございます

菊 池 和 鼓・女・直樹・大 沓
糯 田 想 和・男・有貴・川 尻
小 松 未 侑・女・俊・前 郷

お悔やみ申し上げます

川 村 信 得・83歳・川 尻
高 橋 勝・59歳・川 尻
大 川 キ サ・88歳・新 町
久 保 サ メ・96歳・太 田
深 澤 鉄 夫・75歳・太 田

住民の動き （7月末現在）

項 目	実 数	前月との比較
転 入	8	—
転 出	5	—
出 生	3	—
死 亡	8	—
人 口	7,393	▲2
男	3,457	▲7
女	3,936	+5
世帯数	2,525	+5

交通事故の状況 （7月分）

	物損	負傷	人身	死亡	飲酒
実数	9	2	1	0	0
累計	(67)	(10)	(7)	(0)	(0)

（ ）は1月からの累計

火災・救急の状況 （7月分）

■火災

区分	火災出火件数	損 害 額
件数	0件 (6件)	0円 (調査中)

■救急

区分	救急出火件数			合計
	交通	急病	その他	
件数	2件 (18件)	20件 (96件)	10件 (83件)	32件 (197件)
搬送人員	3人 (28人)	20人 (81人)	10人 (78人)	33人 (192人)

（ ）は1月からの累計



役 場 か ら

広報にしわが編集委員を募集します

広報にしわがの発行は、編集委員会を設けて合議制で発行しています。現委員の任期満了に伴い、次のとおり広報編集委員を募集します。

募集数／4人

任期／平成19年11月1日から2年間

職務の内容／月2回の編集会議（平日の日中）の出席、そのほか広報発行に必要な会議への出席など

応募条件／①会議に出席できる方②20歳以上の健康な方③男女は問いません

申込期限／10月12日（金）

そのほか／①年齢や職業、地区などを考慮し選考します②編集会議は湯田庁舎で行います

申込・問合せ先／企画課 ☎82-3284

基本健診・大腸がん検診

町では、次のとおり基本健診・大腸がん検診を行います。

月日	受付時間	会場	対象地区
10月	2日(火)	9:30～10:30	湯田公民館 湯田
		13:30～14:30	
	9日(火)	9:30～10:30	猿橋公民館 猿橋
		13:30～14:30	
	10日(水)	9:30～10:30	太田公民館 太田
		13:30～14:30	
	11日(木)	9:30～10:30	湯本トレセン 湯本
		13:30～14:30	
	12日(金)	9:30～10:30	機沢公民館 機沢
		13:30～14:30	
	15日(月)	9:30～10:30	保健センター 一区
		13:30～14:30	
	16日(火)	9:30～10:30	上野々公民館 上野々
		13:30～14:30	
18日(木)	9:30～10:30	湯之沢公民館 湯之沢	小繫沢公民館 小繫沢
	9:30～10:30	鍵飯公民館 鍵飯	弁天公民館 弁天
	9:30～10:30	前郷公民館 前郷	新町公民館 新町

問合せ先／保健福祉課 ☎85-3411

生活支援ハウス入居者募集

町は、生活支援ハウス「悠々館」「かたくりの園」の入居者を募集します。

対象者／おおむね65歳以上で、

1人暮らしや高齢者夫婦世帯などのために独立した生活に不安があると認められる方

申込締切／10月16日（火）

申込・問合せ先／保健福祉課 ☎85-3412または包括支援センター ☎85-3137・同支所（悠々館内） ☎84-2161

ワラビを栽培してみませんか

町ではワラビ栽培を推進しています。そこで、秋植え用ワラビ根茎（苗）の配布希望者の取りまとめを行います。今回の取りまとめは根茎の配布を約束するものではありませんのであらかじめご了承ください。

申込期限／10月10日（火）

申込・問合せ先／農林課 ☎85-3415

除雪作業員を募集

町は、次のとおり本年度の除雪作業員を募集します。

作業内容／除雪機械の運転、除雪作業時の車両誘導など

従事期間／12月中旬から来年3月中旬まで（予定）

応募書類／申込書（建設課で配布）、履歴書、自動車運転免許証など、健康診断書（集団検診結果表の写しも可）※申込前に確認のこと

応募資格／昭和17年4月2日以降生まれ（ことし65歳まで）で健康に自信のある方

申込締切／10月12日（金）

問合せ先／建設課 ☎82-3288

錦秋湖畔ウォーキング参加者募集

岩手・秋田県

際交流事業実行

委員会では、ほ

っとゆだ駅から

の錦秋湖畔ウォ

ーキングへの参

加者を募集します。

先着14人で

締め切りますので、

早めにお申し

込みください。

日時／10月7日（日）10:30～



コース／銀河ホール・湖畔ステージ～貯砂ダム～あやめ公園～ほっとゆだ駅～きのこまつり会場（バスで移動し昼食）。13:40ころほっとゆだ駅で解散。※ウォーキングは11:00から12:30までの予定

そのほか／①参加は無料ですが、昼食代は自己負担②参加者に記念品を贈呈

申込方法／10月3日（水）までに郵便番号・住所・氏名・電話番号をお知らせください

申込・問合せ先／企画課 ☎82-3284

住まいづくりに助成

町は、高齢者や重度身体障害者の住む住宅改善を行った際に、その改修費に対し補助します。

改修内容／浴室・トイレの改修、手すり取り付けや段差解消など

補助対象者／要援護高齢者と重度身体障害者（所得制限あり）

補助額／改修費用の3分の2以内で限度は60万円

申請方法／工事着手前に保健福祉課に申請してください。着手後の申請は対象になりません

募集期間／9月25日（火）～10月16日（火）

問合せ・申込先／担当のケアマネージャーや包括支援センター ☎85-3137・同支所（悠々館内）

☎84-2161または保健福祉課 ☎85-3412

行政相談週間

10月15日（月）～21日（日）は「行政相談週間」です。

行政相談委員は国から委嘱され、相談は無料で秘密は厳守します。道路・河川、保険・年金、登記労働など、行政の事についてお気軽にご相談ください。

日時と場所／①10月4日（木）13:30～15:30悠々館②10月18日（木）10:00～12:00老人福祉センター

文化財を訪ねて ⑨



■ 泉沢の一本杉 ■

主要地方道盛岡横手線を挟んで猿橋小学校の真向かいにそびえ、町の天然記念物にもなっている「泉沢の一本杉」。高さは30m、幹の周りは7m30cmで樹齢はおおよそ340年と言われています。

「沢内の民話」によると、その昔、泉太郎治という人物が、旅人の憩う木陰を作るために植えさせた杉並木のひとつで、その後次々に切り倒されたものの、最後に一番若いこの杉が残されたという説が紹介されています。周囲には、ほかに大木もなく際だって目立つ大きな杉です。

マイホームアイドル



りゅうき
龍輝くん (4歳)
みすず
美鈴ちゃん (1歳)

泉沢
平澤 和行さん
恵美子さん

両親から
「元気にすくすく育ってね!!」



れお
麗於くん (5歳)
らん
蘭ちゃん (4歳)
やまと
大和くん (1歳)

川尻
高橋 司さん
かなこ
哉子さん

両親から
「素直でまっすぐな子どもに育ってほしいです」

てにをは

このご時世ですから、予算要求しても無理なので、思い切って自費でカメラを買いました。本当は、防塵防滴的で現場の使用に耐えうるカメラが欲しかったのですが……。このカメラで思ったことは、この間の技術の進歩は素晴らしいということです。それに見合うだけの仕事ができるかどうか自問自答しています。(小林)



地球環境にやさしい大豆インキを使用しています